

ふりゆう
風立



〔校訓〕

風に向かって立つ

失敗から学び、改善すること～授業参観雑感～



校長 上村 勉

新年度が始まり1学期の折り返し点を過ぎようとしています。授業や学級活動の回数とともに、みなさんはその「学年」として呼ばれることに違和感もなくなり、すっかり「学年」の顔つきになってきたと思います。学習する内容がそうさせるのか、新たな後輩ができたことがそうさせるのか…。たった2ヶ月で顔つきや雰囲気が変わってくるのは、もしかしたら「ラベリング効果」があるのかも知れません。「ラベリング効果」とは、社会心理学の概念で、「あなたって〇〇だよ」と決めつけるようにラベルを貼ると、本人

はそのような行動を次第に取るようになるという理論です。血液型診断の本に「A型は几帳面だ」と書いてあることで、A型の人には「几帳面」というレッテルを貼られ、無意識に「几帳面」のような行動を取れるように意識してしまうということです。時には「どうせ〇〇型だから」と言い訳に使うことで、さらにその血液型診断の記載に合わせるようになります。血液型らしくなっていくということです。

イギリスのことわざに「April showers bring May flowers. (4月の雨は5月の花を咲かせる)」とあります。5月に花を咲かせるためには4月の雨が重要だという重要なプロセスがあるということです。「心の中に雨が降ったり、風が吹いたり、時には雷がなることもあるけれど。それは全て未来に起こる何かのための準備期間」と何かに書いてあったような気がします。「苦あれば楽あり」です。

さて、前置きが長くなりましたが、私は一週間の中で必ず全クラスの授業を参観するように心がけています。各教科の授業はどれも充実していて、生徒のみなさんの意欲あふれる授業態度に心沸き立つ思いをしています。その中で3年生は今月初めに実力テストがあったので、そのテスト返却を見る場面もありました。「習ったところまで」が範囲の実力テストの結果に衝撃を受けている人も少なからずいました。「平均以下だった」「こんな点数見たくもない」など悲観的な言葉があふれていました。

しかし、自分が現時点で理解できていない教科の分野などが分かり、今後の学習に生かしていくことができる良い機会だと思うのです。下の詩は、ある学校の教室に掲示されていたものです。苦手分野を克服して、学力向上につなげてほしいと思います。プラス思考で考えていきましょう。

他にも、理科の実験も参観しました。実験をする際の注意事項を説明していました。でも、実験用具を目の前にした時、興味に負け、用具に触ってしまったり私語があったりしました。その時、グループ内の生徒が「静かに」と注意をしました。注意された生徒は、その後しっかり説明を聞いて実験を行うことができました。私たちの生活は、ある意味、信頼関係で成り立っているのかもしれない。過去の失敗を通して、同じような失敗をしないように工夫・改善がなされてきて今日があります。

ただし、失敗は全てがいけないものとは言いきれません。もちろん、命に関わることやケガをすることは避けなくてははいませんが、失敗という経験から学ぶことも多いのです。その理科の授業では、「実験の結果、正しい答えをすでに知っている人もいますが、実験結果をそのとおりまとめることが大切です。」と説明がありました。必ずしも、その時代に正解と思われるものが、その後も正解とは限りません。人類は、失敗から学び、改善すること、努力することによって成長を遂げてきたのです。また、失敗から新たな発見が生まれることもあります。「教室は間違える所」です。しっかり話を聞いて積極的に発言・対話しましょう。

授業を見て回ることは、私にとってとても刺激的です。私自身「新たな学び」を得るために、来月もまた授業にお邪魔します。「あ、また来てる」と空気のように感じてください。保護者・地域の皆様もお時間のある時に中学校へ来て生徒・職員の見学を見てみませんか。お待ちしております。

もっと使ってほしいな

ふっと気づいてみたら、僕はゴミ箱の中にいた。紙クズの間から、仲間が下の方に横たわっているのも見える。

先日の実力テストの日、真剣な表情で書き込んでくれた。赤い丸ペケがついて、点数が書き込まれるまでは大切に扱われていた。教室で返されたときは、両手で大事に挟んでくれた。けど、僕の幸せはそこまでだった。気づいたら、嫌われ者のようにゴミ箱へ捨てられた。大切に扱ってくれた時間は何だったのだろう。

自慢じゃないが、僕には力試しや評価に使われる以上の利用価値がある。真剣に取り組んだテスト時間は、君にとって大切な勉強時間だったはずだ。普段の学習時間の何倍も集中した。密度の濃い時間だったはずだ。僕には、そんな真剣な集中力を引き出す力がある。だからこそ、僕にはすごい利用価値が生まれてくる。

赤い丸は、君の努力への賞賛だ。そして、赤いペケは決して君の能力を否定するものではない。僕を真剣に使ってくれた君へ、僕が贈るエールなんだ。君に「ここが理解不足だよ」「これを覚えたらいいんだよ」「こんなミスはもうしないでね。」と、ささやかなアドバイスをしているんだ。これに気づいたら、きっと僕のすこさを君は納得してくれるはずだ。僕はきっと君のお役に立てると思うよ。ゴミ箱に捨てないで。もう一度、僕たちを見直して。



【1年 郷土・集団学習】 5月16日(木), 17日(金)



郷土・集団学習を行いました。歴史民俗資料館や広田遺跡ミュージアムでは、語り部の方の話や資料で、郷土種子島について学びました。熊野の自然レクリエーション村では、バナナボートやシーカヤックの体験もしました。郷土の歴史や自然に触れることができた2日間でした。

【2年 修学旅行】 5月14日(火)~16日(木)



熊本・長崎へ修学旅行に行きました。自分たちの故郷とは異なる自然や文化、産業に触れることで多くの学びがありました。復旧中の熊本城や長崎の平和祈念公園等で歴史や平和について学び、また、寝食を共にすることで、友人との友情も深め、青春の楽しい思い出を作ることができました。

【3年 職場体験学習】 5月16日(木), 17日(金)



「最終日に思わず涙が出そうになった。」そのような感想を述べている生徒もいたそうです。働くことの大変さを知ると同時に、楽しさも味わうことができた2日間。働いている多くの写真には、生き生きしている姿ばかりでした。

【火災避難訓練】 5月2日(土)



いつ発生するかわからない災害に向けて、訓練を積み重ねることの大切さを学びました。

【スケッチ大会】 5月11日(土)



自分が描きたい景色の写真を見ながら、思い思いに筆を走らせていました。

【租税教室】 5月27日(月)



熊毛支庁の県税課の方から、暮らしと税の関係、収入と支出について学びました。

※ 眼科, 歯科, 内科等の検診, 尿検査が終了しました。再検査等のお知らせがあった生徒は, 早めの対応をするようにしましょう。